



学校だより

児童数 579 名

No. 1 6

強く 正しく 美しく

令和8年10月1日 文責 校長 林 寛

通知表を渡します

4月7日(火)に始まった令和8年度ですが、ちょうど1年間の折り返しとなりました。この間、保護者の皆様には様々な学校の取組にご理解とご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。



ます。ご存知のように上峰小では、成績2学期制を実施し、10月上旬と3月下旬(6年生は中旬)の年間2回、通知表(「のびゆく子」)を作成し、各家庭に子供たちの学校での様子をお伝えしています。今年度は、明日10月2日に「のびゆく子」を子供たちに渡します。

「通知表」をもらって成績の良し悪し、「よくできた」や「もう少し」の数が何個あったかなどが気になるものですが、それだけを見るのではなく、「よくできた」のところはどんな努力が良かったのか、「もう少し」のところはどうして「もう少し」なのかを家庭で振り返る材料にしていきたいと思います。



子供たちの個性や特長、学年ごとの発達段階に応じて、学習への取り組み方にも違いが出てきます。「のびゆく子」を見て、全ての課題を一度に克服することを目指すのではなく、ひとつずつこつこつと克服できるように目標を立てる参考にして頑張ってもらいたいと思います。子供たちの健やかな成長には、家庭での声かけと、励まし、賞賛が不可欠です。担任からの「所見」も参考にしながら、子供たちの頑張りをほめてあげてください。

夢に向かって輝くために

連休前の9月18日(金)、サガン鳥栖の高橋義希SRO(サガン・リレーションズ・オフィサー)に来校してもらい、6年生の子供たちに「夢」を持つことの意味や努力することの大切さ

について、話をしてもらいました。具体的な目標を持つことができると、それに向かう努力につながり、それが人の成長に結びつくという内容の話は、今、夢や目標を持っている子供はもちろん、これから探そうとしている子供たちの背中を後押ししてくれそうです。

高橋義希さんは、毎年、佐賀県内の小中学校で講演やサッカー教室、朝のあいさつ運動などの地道な活動を続けていらっしゃいます。



学校訪問 チーム担任制

先々週に続いて、県の教育委員会の学校訪問がありました。今回は、上峰小が4年生と5年生で取り組んでいる「チーム担任制」の様子を県教委の学校教育課の先生が見に来ら

れました。昨年度に続いて、県内の9校で取り組んでいる制度ですが、複数学年での取り組みは、まだ多くはないそうです。4年生の各クラスと5年生の1クラスの授業参観をしたあと、校長室で情報交換をしました。県内での実施はまだ少数ですが、横浜市では今年度から全小中学校で取り組むなど、子供たちへの寄り添いと先生方の働き方改革の両輪として広がりを見せています。



9月が終わり、令和8年度も折り返しになりました。入学したての1年生が先生に指示されなくても、事務室や保健室に自分たちで行ったり、チャイムや放送を聞いて、運動場から校舎に急いで戻ってきたりしている様子を見るとしっかり成長の跡が見えます。2年生以上の子供たちも、1学期は「〇年生らしくなろう」という目標だったのが、これからは、次の学年の姿を目標にして過ごすようになっていきます。

